

多職種ネットワーク（MCS）の利用実績について

1. 目的

区内に居住する在宅療養者等に関わる全ての医療と介護の関係者が、ICTシステム（MCS：メディカルケアステーション）の活用により情報を共有しながら連携して在宅療養者等を支える体制を構築する。

文京区医師会においてICTネットワークの管理・運営を行い、対象関係者の連携を支援している。

2. ICTシステムの運用

設置場所：文京区医師会館内

受付時間：月曜日～金曜日までの午前9時から午後4時

窓口従事者：文京区医師会事務局職員

業務内容：MCS登録管理、登録、利用に関する対応管理

MCS地域統計情報：別紙

3. 運営委員会

両医師会及び区関係部署委員で構成する運営委員会を設置し、その下に文京区医師会の委員で構成する小委員会設置している。

運営委員会は、令和5年6月12日に文京区医師会館で対面にて行い、以下内容について確認・検討した。

- (1) 運営委員会構成員の確認
- (2) 例年2月頃開催している研修会の開催方法と内容について検討した。内容は文京区医師会内でMCSを活用して多職種が連携した症例についての報告など。
- (3) 医療機関同士の連携の進め方について

4. 対象関係者への普及及び啓発

(1) 研修、講演会の開催

令和6年2月17日に研修会（対面形式）を開催した。

内容は以下の通り。

- ① 本郷ファミリークリニックによる「多職種連携におけるICT（MCS）の活用方法と、今後の取り組み」の発表
- ② LE訪問看護ステーション看護師による「訪問看護からみたMCSの活用について」の発表

※医師会、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、行政担当等約60名が参加した。

(2) 周知・啓発

文京区医師会ホームページに多職種ネットワークのページを設置して情報提供をした。

訪問看護ステーション、介護事業所への普及について検討した。

医療機関同士の連携について：都立大塚病院の担当者とMCSを活用した連携について検討した。